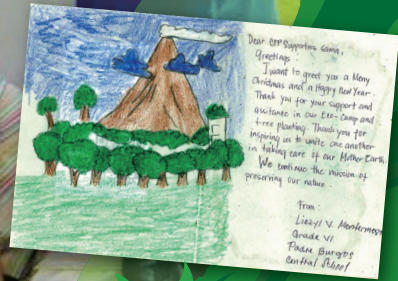


活動案内 2012

「子供の森」計画

Children's Forest Program



子どもたちが学校や地域で苗木を植えて育てていく活動を通じて「自然を愛する心」や「緑を大切にする気持ち」を養いながら地球緑化を進めていく「子供の森」計画。2011年に活動20周年を迎え、世界28の国と地域の多くの子どもたちが参加しています。

2011年に重点的に事業を展開した国

- バングラデシュ ■ カンボジア ■ フィジー ■ インド ■ インドネシア ■ マレーシア ■ ミャンマー
- フィリピン ■ パプアニューギニア ■ スリランカ ■ タイ ■ 中国 ■ 東ティモール ■ ケニア
- エチオピア ■ モンゴル ■ パキスタン ■ ホンジュラス

NEWS 2011 ピックアップ

- ◆ 2011年春、東日本大震災の被災地へ10カ国の子どもたちから応援メッセージが届く
- ◆ 5月、国連生物多様性条約事務局が推進する『グリーンウェイブ・キャンペーン』に世界13カ国105カ所にて約14,000名が参加
- ◆ 9月、タイで6カ国の代表を集めコーディネーター研修を実施
- ◆ 11月、ホンジュラスで「子供の森」計画がスタート
- ◆ 12月、来日した国連生物多様性条約事務局ジョグラフィック事務局長(当時)と国連WebTVで対談し「子供の森」計画をPR

「子供の森」計画を支援して下さる方を募集しています。
ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

➔ 「子供の森」計画情報提供サイト
www.kodomo-no-mori.info



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。
事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>

「子供の森」計画20周年！ホンジュラスも仲間入り

「子供の森」計画は世界28の
国と地域に広がったよ

1991年より始まった「子供の森」計画は、多くの支援者の皆さまの支えにより2011年に20周年を迎えることができました。フィリピンの数校の学校からスタートした「子供の森」計画ですが、子どもたちの植林や育林活動に加え、子どもたちの環境教育にも力を入れ、そしてその土地地域に合った自然との共生手法を子どもたちだけでなく地域住民にも広めながら、多くの国からの要望を受け、28の国と地域で実施されるまでに広がりました。

2011年に新しく仲間入りを果たした中米の国・ホンジュラス。ランブータンやヤシの栽培が盛んな農村地帯のアトランティダ県（同国北部）のラモン・ロサ小学校にてスタートしました。子どもたちの自然への理解と親しみを深めるため、ゲームを取り入れた環境授業や野外の清掃活動を実施した後、1年生52名による校庭への植林活

動を行いました。「将来は、みんなが楽しめる森をつくりたい」と夢を語る子どもたち。これからも多くの国の子どもたちが緑と夢を楽しめるように活動を広めていきたいと思えます。



校庭で行った自然と親しむ環境授業



1年生52名が植林。これからの成長を見守ります

カンボジアでも積極的に展開

子どもたちが地域へ
“Happy”を届けているよ

2009年より「子供の森」計画をスタートさせたカンボジアでは、学校数を増やしながらかつ活動の幅を広げています。トゥールトリア小学校では、2011年11月に環境保全活動や木の重要性を地域の多くの人たちにも広めるための「ハッピー・ハッピープログラム」を行いました。地域の人たちや他の学校の子供たちを招待して、子どもたちが1ヶ月間練習を重ねてきた「木はこんなに役に立つ」という劇を披露したり、クメールの伝統舞踊、森についてのクイズ、

そして植林活動を行い、多くの地域の人たちへ“Happy（幸せ）”を届けるよう子どもたち自らが頑張りました。

また、2012年1月にはカンボジアのコーディネー

ター2名が隣国で「子供の森」計画の活動経験の長いタイへ研修に行きました。オイスカ・タイが日常的に行っているリサイクル活動や有機農業指導、森林の管理、ネイチャーゲーム、キャンプなどを視察・体験したほか、他団体やNGOとのネットワークを活かした活動を学びました。研修を受けたカンボジアのコーディネーターは、これらのさまざまな体験を通してCFPの可能性をより一層確信した様子でした。



子どもたちの環境劇「木はこんなに役に立つ」



タイの子どもたちと草木染めの布のカーテン作りを体験するカンボジアのコーディネーター

TOPICS

世界とつながろう！ グリーンウェイブ

オイスカは、世界各地で子どもたちに自分たちの国・地域の生物多様性について学び行動する機会としてグリーンウェイブ*を積極的に展開しています。「国連生物多様性の10年」がスタートした2011年には、国連生物多様性条約事務局と連名でグリーンウェイブに参加した学校に対して「グリーンウェイブ参加証」を発行するなどの取り組みを行い、「子供の森」計画を始めとしたオイスカの関係行事として、世界13カ国105カ所でグリーンウェイブを実施し約1万4000人が参加しました。

*グリーンウェイブとは世界中の子どもたちが生物多様性の日(5月22日)を中心として一斉に木を植えるなどの活動をしようという、国連生物多様性条約事務局が推進しているキャンペーンです



グリーンウェイブ参加証を持ち喜ぶ子どもたち



グリーンウェイブの様子

子どもたちの活動の様子や国情報の一部を紹介しています。

他のレポートや地域の情報はホームページをご覧ください。facebookでも情報発信中です！